

巻 頭 言



山口県知事 村岡 嗣政

「活力みなぎる山口県」の実現をめざして ～世界スカウトジャンボリーで国際交流～

山口県では、本年3月、今後の県政運営の指針となる「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」を策定し、「活力みなぎる山口県」の実現をめざして、新たな県づくりに積極的に取り組んでいるところです。国際化に向けては、このプランに沿って、国際交流・国際協力・多文化共生の地域社会づくりなどに関する諸施策に取り組んでいます。

これまで、本県では、友好姉妹提携先である中国・山東省、韓国・慶尚南道、スペイン・ナバラ州と、経済、教育、文化などさまざまな分野で交流を行ってきました。山東省とは、毎年貿易商談会を開催しているほか、環境分野における研修員の受入や技術者の派遣などを実施しており、慶尚南道とは高校生スポーツ交流事業や語学教員の相互派遣など、ナバラ州とは文化団体の相互交流などを行ってきました。また、昨年12月には、経済成長著しい東南アジアとの交流を進めるため、ベトナム・ビンズン省と友好・協力に関する覚書を締結したところです。

このように海外との交流を広く進める中で、この夏、7月28日から8月8日までの12日間、山口市阿知須きさら浜を主会場に、国内外から3万人以上のスカウトが一堂に集う「世界スカウトジャンボリー」が開催されます。

日本でのジャンボリーの開催は、昭和46年の静岡県での開催以来2回目であり、海外スカウトとの交流を通じて、本県の児童生徒や県民の国際理解を深める絶好の機会であるとともに、「山口県の魅力」を世界中に向けて発信できる大きな舞台であると捉えています。

このため、県では、国際交流イベント「やまぐちジャンボリーフェスタ」の開催や、県内全ての市町をスカウトが訪問する「地域プログラム」など、主会場であるきさら浜はもとより県内各地でスカウトの皆さんを温かくお迎えし、さまざまな交流活動に取り組むこととしています。

また、海外スカウトと県民の交流をサポートするため、1,000人を超える「語学ボランティア」の方々にお手伝いをさせていただきます。ボランティアの皆さんには、この体験を通じて広く世界に目を向け、多様な価値観や文化への理解を深めていただくとともに、将来グローバル化社会で活躍されることを期待しています。

「世界スカウトジャンボリー」を通じて、「山口県の魅力」を広く発信するとともに、本県での国際交流活動がさらに活発化するよう、県内各市町・団体などと連携し、さまざまな取り組みを展開していきたいと考えています。